

SR-S208TC2 V13.02 変更内容一覧

□機能追加

| No. | 項目 | 内容 |
|-----|-----------|--|
| 1 | ARP認証機能改善 | LinuxやWindows Vista端末から送信されるSender IP addressに0.0.0.0が設定されているARPパケットを認証対象としないよう改善しました。 |

□修正内容

| No. | 影響範囲 | 内容 |
|-----|---------------|--|
| 1 | V10.00～V13.00 | ether L3監視機能を使用したバックアップポートの稼働ポート切り替え後、別セグメントから本装置宛てに対するpingに応答しない場合がある。 |
| 2 | V03.00～V13.00 | リンクアグリゲーションを設定したポートから本装置を送信元にしたユニキャストアドレス宛てのパケットが送信されない場合がある |
| 3 | V13.00 | ARP学習エントリー内の学習ポート番号情報が正しく更新されない場合がある。 |
| 4 | V12.00～V13.00 | 同一隣接装置からポート番号が異なるLLDP隣接装置情報を複数受信しても、そのうちひとつだけしか保持されない。 |
| 5 | V12.00～V13.00 | unknown flooding onモードでのIGMPスヌープにてリスナ端末がJoinしても260秒経過後にマルチキャスト転送が停止する。またリスナ端末がLeaveした後、再度Joinできない。 |